議会だより

中能登町議会

とびら

第24号
2020.8

楽しく再スタート！中能登にほんごひろば「茶の間」

【主な内容】

正副議長就任挨拶と議会組織改選　２～３ページ

一般質問　町政を問う　議員７名登壇　７～１０ページ

過去の議会だより

QRコードを読み取ってご利用下さい。

議長就任のご挨拶

6月定例会議最終日の6月18日に、議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。

これからは公平で円満な議会運営に努めるとともに議会が町民から信頼される議会に、そして、機能の強化をし、議会と執行部が建設的な議論をしながら良い町づくりになるよう取り組んで行く所存であります。町民の皆さんが住んでよかった、中能登町へ行って住みたいと言われるような町づくりのために一生懸命頑張りたいと思いますので今後とも議員の皆さま、そして執行部の皆さんのご指導・ご協力、時には叱咤激励をしていただきますことをお願い申し上げまして就任のご挨拶とさせていただきます。

中能登町議会議長　作間七郎

副議長就任のご挨拶

6月定例会議最終日の6月18日に、議員各位のご推挙により、副議長に就任いたしました。

この上は、議長の良き女房役として、更なる議会活性化に向け、議会の円滑な運営と、所期の目的が達成されるよう努める所存です。

申すまでもなく、「議会は町民の代表者であり、奉仕者でもある」。このことをモットーとして、町民の皆さんの付託に答えられるよう、誠心誠意努めて参りたいと考えておりますのでご指導くださいますようお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

中能登町議会副議長　諏訪良一

議会組織改選

□委員会の役割ってなあに？□

町政は多岐にわたっています。議会において、専門的に調査するために各委員会が設けられています。

❶議会運営委員会

議会の運営を円滑に行うため、議会日程など調整します。また、議会に関する条例や規則、議長の諮問についても協議しています。

❷常任委員会

分野別に調査・審査を行う常設の委員会です。
中能登町議会では「総務建設」「教育民生」「予算決算」の３つが設置されています。

❸特別委員会

常設の委員会とは異なり、特定の事件について調査・審査するときに設置します。

議員の任期は４年ですが、中能登町議会では、条例で議会運営委員会と常任委員会の委員の任期は２年となっています。

去る７月随時会議で常任委員及び議会運営委員が選任されましたのでご紹介します。

また、7月15日には特別委員会の正副委員長が決まりました。

◎：委員長　○：副委員長

【議会運営委員会】

◎宮下 為幸　○南　昭榮　坂井 幸雄　甲部 昭夫　林　真弥

【総務建設常任委員会】

◎坂井 幸雄　○笹川 広美　作間 七郎　甲部 昭夫　土本　稔

【教育民生常任委員会】

◎林　真弥　○古玉いづみ　宮下 為幸　諏訪 良一　南　昭榮　尾田 良一

【予算決算常任委員会】

◎諏訪 良一　○土本　稔　坂井 幸雄　甲部 昭夫　宮下 為幸　南　昭榮
笹川 広美　林　真弥　尾田 良一　古玉いづみ

【議会・行革活性化特別委員会】

◎林　真弥　○古玉いづみ　坂井 幸雄　甲部 昭夫　宮下 為幸　諏訪 良一
南　昭榮　笹川 広美　土本　稔　尾田 良一

【庁舎統合建設特別委員会】

◎甲部 昭夫　○土本　稔　坂井 幸雄　宮下 為幸　諏訪 良一　南　昭榮
笹川 広美　林　真弥　尾田 良一　古玉いづみ

【議会広報特別委員会】

◎土本　稔　○笹川 広美　諏訪 良一　林　真弥　尾田 良一　古玉いづみ

【事務組合】

長曽川水防事務組合	坂井 幸雄　林　真弥　古玉いづみ
石川県後期高齢者医療広域連合	作間 七郎
石川北部RDF広域処理組合	坂井 幸雄
【監査委員】	甲部 昭夫

採決の結果

■5月随時会議■　開催期間5月14日

町の2年度一般会計予算は20億9561万7千円を増額し総額127億2761万7千円になりました

■全議員が賛成して可決された主な議案

（議長は、採決には加わりません。）

結果	町長提出議案
可決	議案第6号　令和2年度一般会計補正予算 内容 特別定額給付金事業として１８億２７７万７千円、子育て世帯への臨時特別給付金交付金として２０４４万円がそれぞれ増額された

■6月定例会議■　開催期間6月5日から6月18日

町の2年度一般会計予算は639万2千円を増額し総額127億3400万9千円になりました

■賛否が分かれた議案

○：賛成　×：反対　欠：欠席　退：退席　除：除斥

結果可否	議案名＼議員名	古玉いづみ	尾田良一	土本稔	林真弥	笹川広美	南昭榮	諏訪良一	甲部昭夫	坂井幸雄	作間七郎
	議会提出議案										
可決	発委第1号　中能登町議会の議員報酬等の臨時特例に関する条例の制定について（6か月間10％減）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	町長提出議案										
可決	議案第7号　令和2年度中能登町一般会計予算	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○
可決	議案第8号　工事請負契約の締結について（令和２年度中能登町役場分庁舎整備工事建築）	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
可決	議案第9号　工事請負契約の締結について（令和２年度中能登町役場分庁舎整備電気設備）	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
可決	議案第10号　工事請負契約の締結について(令和２年度中能登町役場分庁舎整備機械設備)	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○

結果	議会提出議案
可決	石川県における精神障害者の医療費助成について

■付託された常任委員会での請願の採択結果

請願	付託委員会採択結果
請願者：石川県における精神障害者の医療費助成制度の創設を求める連絡協議会 代表　松原三郎 紹介議員：林真弥議員 石川県における精神障害者の医療費助成について	教育民生常任委員会 採択

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案の成立の可否が決定します。

■討　論

反対します！

林議員　**議案第7号一般会計補正予算で社会教育費の図書館活動推進事業における委託料519万2000円の歳出について反対である。**

図書館充実に向けた改修事業の是非について物申すつもりはないが、今の世の中の状況を察知されていないと思う。世界中でコロナ禍の終息が見通せない中、今なぜ不要不急と思えるような大きな事業を進める必要があるのか。第2波に備えて予算措置も含めた備えに傾注すべきあり、町は昨年来より財政運営については緊縮財政へとの答弁もあった中、限りある財源を持って町民の安全安心が最優先という思いと、町民感情を鑑み今このタイミングでの図書館充実に向けた予算計上には反対する。

尾田議員　**発委第1号中能登町議会の議員報酬等の臨時特例に関する条例の制定について反対である。**

議員から、「感染された方との痛みを分かち合うという意味では良いことなのでは」との意見があった。それなら、県内の町議会の中でなぜ率先してやろうといった提案がなされなかったのか。自分たちの評価、あるいは人気も多分に考慮したのではないか。もっと他に協力の仕方があるのではないかとも考えるのが反対理由である。

議案第7号一般会計補正予算について反対である。

新型コロナウィルスという未曾有の災害に世界中が見舞われている中、我が町での対応は全く状況判断を見誤ったものと考える。今後予想されるであろう2次3次災害を想定した対策が講じられるべき現状に逆行するものである。正に「日本の一般常識は当町では通じないのでは、」と思われても致し方ないものである。

古玉議員　**議案第7号一般会計補正予算図書館活動推進事業519万2000円に反対である。**

1点目、これは計画性の無さである。図書館活動推進事業は当初予算には計上されていない。不要不急の計画事業ではない中で、計画性の無さを指摘する。2点目、目的が明確でない。基本設計図にカフェがあったり、子どもの子育ての部分であったり、本当に何がしたいのかしっかりと明確に見えてこない。計画性の無さ、目的のあやふやさ。建設工事ありきではないのかと目的が見え隠れする。庁舎と同じ計算で基本設計の時点で提示された7億8052万円が11億2052万円と跳ね上がったように1.45倍したとすると、図書館総事業費は1億2000万円から１億7500万円と跳ね上がる可能性がある。３点目として、公表し町民に意見を述べてもらうパブリックコメントを求めるべきだ。実施設計に進むには時期尚早であり、コロナ禍において不要不急の事業だとは思わない。

賛成します！

土本議員　**議案第７号令和２年度一般会計補正予算について賛成する。**

反対討論の中で、第２波、第３波がいつくるか分からない中、今やらなければいけないのかとの意見であるが、問われているのは、命と経済ではなく、命と命である。コロナにかかって亡くなりやすい人たちと、その人たちを守るためにこれまでの生活を諦めている人たちの命の両方が危うい状況である。

そして今、新型コロナウイルスに対して、第２波、第３波がくるかもしれないと不安をあおることが、住民の苦しみや不安に対する想像力があるのかが理解できない。

パンデミック後の社会に希望が見える町づくりを期待して一般会計補正予算に賛成する。

請願の審議内容 Q&A

Q：知的障害と精神障害の区別は？（質問者：尾田議員）
A：それぞれの方が所持する障害者手帳によって判別される。（紹介議員：林議員）

議案の審議内容 Q&A

■中能登町立図書館整備に係る実施設計について

Q：鳥屋と鹿西図書館の配置はどうなるのか？（質問者：尾田議員）
A：単独図書館としては廃止され、図書室となる。（担当課：生涯学習課）

Q：人材面でも充実させる必要があると思うが？（質問者：尾田議員）
A：複数人の司書を配置する。（担当課：生涯学習課）

Q：キッズコーナーの利用目標は？（質問者：林議員）
A：幼児期から本に触れあうことが大切である。また、利用者の減少があるのでソフト面の充実を図り、利用者の増加を目指す。（担当課：生涯学習課）

6月定例会議 **一般質問** ここが聞きたい！！

7名の議員が登壇し質問する

一般質問

QRコードを読み取ってご利用下さい。

問 ため池の現状を伺う
答 地域の要望を続ける

甲部　昭夫 議員

【甲部】県は頻発する豪雨災害対策としてため池の廃止を進めており、昨年度は63カ所を廃止したが、町の現状について3点で聞く。①防災重点ため池数と現状②改修事業の概要と要望事項③廃止計画。

【町長】①町内103施設の内、86施設が防災重点ため池となっている。先の国会において、ため池に係る特別措置法案が可決、成立したことから、国に対し、地域の願いであるため池の防災を要望として粘り強く続けていきたい。それにより、安全への効果が高まると確信する。

【農林課長】②町では主に老朽ため池整備事業で改修を行っており、これは、改修、補強を行うことで決壊などの被害を防ぐ事業であり、県が事業主体となっている。また、震災対策農業事業も行われており、地区要望には、必要に応じ対応できる事業に申請している。③廃止の場合は補助事業があり、それを活用したいと考えるが、廃止計画数は把握できていない。

【甲部】能登部上区の谷内池改修要望の対応を聞く。

【町長】2月に要望書が出され現地確認を行った。内容等を精査し、要件に合う事業で行いたい。

農村地域防災減災事業を実施する予定の武部新池

問 避難所運営訓練の計画は
答 関係課と調整のうえ検討したい

林　真弥 議員

【林】コロナ第2波と複合災害の対応について2点で伺う。①第2波を想定した見解と対応②コロナ禍での自然災害発生を想定した備えと対応。

【町長】①政府は5月25日までに緊急事態宣言を解除し新たな生活様式を呼び掛けているが、東京では再び感染者増加が認められる。当町では、引き続き感染防止に取り組んでいく。②防止策を講じ災害に備えるよう国からの通達では、避難所増設の要請はあるが容易でない。このため国では親戚宅等の分散避難を呼び掛けており、町もこれを推奨したい。

【林】県内では初めて能美市で、感染防止と自然災害を想定した避難所運営訓練を実施したと聞く。同市によると、検温等に時間を要することや、密回避の周知といった問題が挙がったそうだが、当町ではこのような訓練計画はあるのか。

【総務課担当課長】現時点で計画はなく、関係課と調整のうえ検討を進めたい。

【林】コロナ禍で自然災害が発生した時、対応が後手後手とならないよう、あらゆる場面を想定した備えに傾注すべきだ。今はこれに尽きる。想定外など安易に使わぬよう執行部の心意気に期待する。

避難所設営訓練　段ボールベッド設置

問 新ごみ処理施設を問う
答 民間事業者が担うDBO方式を採用

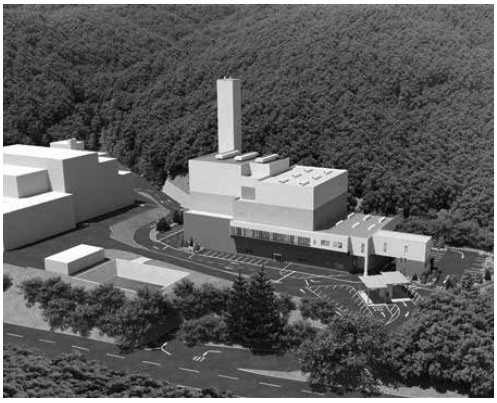
坂井　幸雄 議員

【坂井】七尾、中能登で新設するごみ処理施設について、3点で伺う。①新施設整備の概要②計画中の規模が適正か否か③当町のごみ減量対策。

【町長】①新施設は、設計から運営までを民間事業者が行うDBO※方式を採用し、1日当たり70トンの処理能力がある全連続燃焼式焼却炉を採用したと七尾市から説明を受けている。②今回採用された1日当たり70トンの処理能力については、過去5年間の処理量と人口から量を予測し、国が定める算定式により決定した。新施設で受け入れる令和5年度の1日の平均処理量を算出した結果、受入れ量が51・8トンとなっている。しかし、故障などで一時休止し処理能力が低下した場合を考え、調整稼働率で算定した結果、1日当たり70トンで計画したとの報告で、規模は適正だと考える。③委託料は、七尾、中能登の過去3年間の排出量から負担割合が決まるが、令和2年度の町の負担は22・23％となっている。今後、委託料の増額が予測されるが、町で処理できる生ごみは町で処理できないか、東馬場地区の協力を得て分別収集実証実験を行い、削減に向け調査中だ。

【その他質問】▼農地中間管理機構

※DBO方式とは…民間事業者が対象施設の設計、建設、運営を一括して行う方式。



七尾市吉田町で整備されるごみ処理施設のイメージ

問 町民目線で図書館機能の充実を図れ

答 学び・交流・子育てができる図書館にしたい

古玉いづみ 議員

【古玉】今補正予算でラピア鹿島図書館改修の実施設計費、５１９万2千円が計上されている。6年前に実施された公共施設に関する町民アンケートにおいて、若い世代が図書館の更なる活用を望んでいるとのことだが、ラピア鹿島に蔵書を集約し、鳥屋・鹿西図書館は図書室に縮小する計画を3点で伺う。①今後の図書館の中長期的計画②町民の文化力向上に向けた手法③読書通帳類の導入。

【町長】①幅広い年代の読書人口の増加を図り、ＩＣＴ技術活用や国際文化も取り入れた図書の整備等、学び、交流、子育てができる図書館にしたい。

【生涯学習課長】②充実した一般図書や郷土資料による調べ、専門的な図書を用いての技能や技術開発等の知識を身につけられるようにしたい。また、ラピア鹿島の整備は、文化の継承と発展につながるものと考える。③他の図書館の運用実績を調査し検討したい。

【古玉】ハード面だけではなく蔵書増やネットワーク整備を優先し、町民の利便性向上と読書推進を図ってもらいたい。

【その他質問】▼町内小中学校におけるコロナ禍での教育環境整備

改修され拡大されるラピア鹿島図書館

問 福祉チームの機能向上を図れ

答 資質の向上に努める

尾田　良一 議員

【尾田】子供と同居していても特別定額給付金10万円がもらえないお年寄りや子どもからもらえることを聞かされていないお年寄りは誰に相談すればいいのか分からない。このような町民が知らない知ろうとしない状態を放置しているのは無責任ではないか。プライバシーの問題はあろうが、受け取る側の状態まで配慮してほしい。

【町長】直接的な代理申請は出来ないが、相談があれば関係課につなぐ対応をしていく。

【尾田】形の上で『自分の責任が終われば後は知らん』では人情の機微がわかる行政とは言えない。※セーフティネットを活用するなど条例という可視化以外にも町が果たすべきところがあるのではないか。

【総務課長】まずは町民の皆様に一刻も早く10万円をお届けするべく事務作業を進めてきた。なかなか６７００世帯の個々の事案には様々なケースがあり、対応は難しい。個々の家庭でしっかりと話し合っていただきたい。

【尾田】今こそ滅私奉公、忘己利他の気持ちをもって町の福祉事業に取り組んでいただきたい。

※セーフティネットとは…社会保障の一種。網の目のように救済策を張り安心・安全を確保するための仕組み。

助け合い、「鳥獣戯画」

問 健康で安心な日常守れ！
答 地域福祉推進チームの活躍支える

笹川　広美 議員

【笹川】コロナ禍においても、高齢者の皆さんが、人とのつながりを保ち、健康を維持できることが求められる。「おうち時間」を楽しく健康に過ごす知恵をまとめたリーフレットの活用も有効である。また各地区の地域福祉推進チームのネットワーク力で安心のつながりを育んでいただきたい。町の対応を伺う。

【町長】新しい生活様式の町民の皆さんへの周知・理解が重要と考えている。「おうち時間」などを参考に閉じこもりによる生活不活発、※フレイル予防のための情報発信を行う。さらに高齢者の孤立を防ぎ、心身の健康を保つためには、日頃から何でも話し合える親しい友人、ご近所関係、支え合う地域づくりが大切である。その役割の一つとして、地域福祉推進チームの存在は重要である。各地区でチームが機能し、活動が行われるよう町としても助言や支援を継続していく。

【笹川】今年度の町民健診は、3密を避けて事前申し込みが必要となった。フレイル検査もある。町民の皆さんが、しっかり受診できる対応を行って頂きたい。

※フレイルとは…加齢により心身機能が衰えた状態、要介護の前段階

【その他の質問】▼子どもの学びのための環境整備▼避難所の感染対策

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に負けない！

「おうちえ」公式ホームページ

問 健全な財政運営を図れ
答 ランニングコストの縮減を目指す

諏訪　良一 議員

【諏訪】新型コロナウイルス感染症の拡大の影響などから景気が急速に悪化し、日本経済は長期低迷の危機にあるようである。この難局をどの様に受け止め対処していくつもりか伺う。①コロナ恐慌に関する所見　②財政健全化の推進　③新分庁舎における歳出の削減をどのように行うのか。

【町長】①町民の日常生活の回復への生活支援対策や町内の経済活動の回復に向けた地域経済対策に取り組むとともに、いつ収束するともわからない難敵にも対応できるよう堅実な財政運営を行う。②現時点では財政状況は4つの指標全てで基準を超えておらず健全である。コロナ対応としての町の実質負担はおよそ1億1千万円となっている。今後の状況により負担額の増減が考えられる。国、県の動向にも注視しながら町民が一丸となって感染予防に努めながら、経済対策等に取り組む。③新しい分庁舎での業務開始は来年1月を予定しており、従来以上の※ランニングコストの縮減に努めたい。そして新しい分庁舎体制のもとで、職員が一致団結してより効果的な行政運営を目指していきたい。

※ランニングコストとは…建物や設備、システムなどを継続するための維持費

■中能登町の健全化判断比率の状況

会計区分	健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準
	平成29年度	平成30年度		
①実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	14.2%	20.0%
②連結実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	19.2%	30.0%
③実質公債費比率	11.5%	13.1%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	75.0%	94.2%	350.0%	

教育民生常任委員会

中能登町立図書館整備に係る実施設計について

図書館統合は以前から協議をしていたが、庁舎問題があり、暫く凍結していた。

しかし、3月定例会議で旧鹿西中学校の改修費用が可決され、一定の解決がなされたと考え、改めて図書館統合を進めたい。整備については、第２次中能登町総合計画に基づき、主にラピア鹿島内旧保健センターを改修するもので、平成26年度に実施した公共施設に関するアンケート結果が背景にある。総事業費は約1億2000万円で内訳は、工事費約1億600万円、システム更新などの委託費約1千400万円となる予定である。(生涯学習課)

Q：どれだけ施設の充実を図っても活用できる人材がいなければ宝の持ち腐れになる。税金の無駄遣いではないか？（尾田委員）

A：複数人の司書を置くことで、専門的なアドバイスができると考える。

Q：旧保健センター改修部分の計画図を見ると、図書館というより託児所ではないか？（林委員）

A：子どもたちが本に触れ合うきっかけの一つの形だと考える。

Q：コロナ禍において図書館整備よりも子どもの教育に傾注すべきとの声を聞く。
この状況下、子どもの教育と図書館の充実、どちらが大事か町長に伺う。（古玉委員）

A：どちらも大事であり、子育て支援が他の市町より劣っているとは思わない。
子育ての一環として図書館も充実させていく。

総務建設常任委員会

第2期（2020年度～2024年度）中能登町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

国の「地方創生推進交付金」を活用し①新しい人の流れをつくる②時代にあった地域をつくる③安心な暮らしを守るなどを基本目標として取り組む施策です。

－主な目標数値－

●しごとづくり　（安定した雇用を創出する） ㋐ 製造品出荷額等300億円維持 ㋑ 基盤産業者数(新)1,700人 ㋒ 創業者　25件	●ひとづくり ㋐ 町に戻ってきたい新成人の割合(新)50% ㋑ 生産年齢人口数(新)8,200人 ㋒ 関係人口数(新)10,000人　転入者数370人
●子育て環境づくり　（出生率日本一を目指して） ㋐ 合計特殊出生率2.0 ㋑ 婚姻数70組	●地域づくり ㋐ 町に住み続けたい新成人の割合(新)50% ㋑ 空き家バンクの成約件数25件

常任委員会審議内容報告

議会活動報告　5月から7月までの議会活動

○…出席　×…欠席　△…早退・遅刻
―…委員外　公…公務
オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席するとき

さまざまな会議の議員の
出欠状況をお知らせします。

月　日	会議名＼議員名	古玉いづみ	尾田良一	土本稔	林真弥	笹川広美	南昭榮	諏訪良一	宮下為幸	甲部昭夫	坂井幸雄	作間七郎
5月8日	議会運営委員会	―	―	―	○	○	―	―	オ	○	○	○
5月11日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	―	○	オ	―	―	―
5月14日	全員協議会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月14日	5月随時会議	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月15日	教育民生常任委員会	○	○	―	○	―	○	―	オ	○	―	―
5月18日	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月26日	議会運営委員会	―	―	―	○	○	―	―	オ	○	○	○
5月29日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月5日	6月定例会議　初日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月8日	教育民生常任委員会	○	○	―	○	―	○	―	オ	○	―	―
6月8日	総務建設常任委員会	―	―	○	―	○	―	○	○	―	○	○
6月9日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
6月15日	6月定例会議　一般質問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月18日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月18日	6月定例会議　最終日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月8日	7月随時会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月15日	庁舎統合建設特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	オ
7月15日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	オ
7月15日	教育民生常任委員会	○	○	―	○	―	○	○	○	―	―	オ
7月15日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	―	○	―	―	―	オ
7月15日	総務建設常任委員会	―	―	○	―	○	―	―	―	○	○	○
7月21日	議会運営委員会	―	―	―	○	―	△	―	○	○	○	オ
7月31日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

レポート提出します　12月定例会議議員派遣

◆報告者：土　本　　稔　◆期　間：令和2年2月16日
◆場　所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター　◆研修名：ＩＣＴ活用で変わる議会改革

全国の自治体約1750団体あるうち、約330議会がタブレットを導入している。ペーパーレス化ありきの導入は、今は紙やインクも安価であり、費用対効果の視点からは疑問に感じる。研修では実際にデモ器で体験したが、凄く便利である。そして、議員活動も広がることが期待され、タブレットの維持費をすべて公費で賄うべきかは疑問である。

また、タブレットからの検索（インターネット）は、管理プロバイダーにより情報管理されるため、情報公開請求があれば、誰が、いつ、何時に、何を検索したのかが分かる。他の議会で、情報公開請求によりタブレットで私的利用したと批判された事実もある。それに、タブレットの故障や紛失などの問題があった場合、補償は公費負担でするのか議論の余地はたくさんある。

タブレットの導入により議会の効率化が図られるが、費用負担や使いこなす技量や使用モラルが厳格化されないと、町民からは理解してもらえないと思った。

議会からのお知らせ

９月定例会議の日程

９月４日（金）　10：00　定例会議　開議
〔議案上程・提案理由説明・質疑など〕
９月７日（月）　10：00　総務建設常任委員会
13：30　教育民生常任委員会
９月９日（水）　10：00　予算決算常任委員会
９月10日（木）　10：00　予算決算常任委員会
９月11日（金）　10：00　予算決算常任委員会
９月14日（月）　10：00　予算決算常任委員会
９月16日（水）　10：00　予算決算常任委員会
９月17日（木）　10：00　一般質問
９月18日（金）　10：00　一般質問（予備日）
９月25日（金）　13：30　全員協議会
15：00　定例会議 閉議
〔委員長報告・質疑・討論・採決〕

定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。傍聴はご遠慮願います。

長曽川水防事務組合議会報告

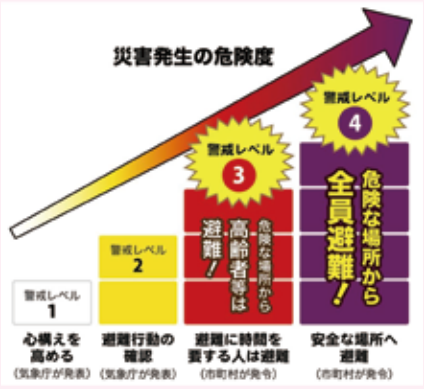
（組合議員：坂井幸雄議員、林　真弥議員、古玉いづみ議員）

令和2年6月4日（木）組合議会第一回定例会

令和元年度決算額　歳入　280,482円
歳出　87,390円
主に３カ所ある水防倉庫で管理される土のう袋やブルーシートの購入費
（差額193,610円は次年度へ繰り越されます。）
令和２年度予算額　歳入・歳出　334,000円
全会一致で決算認定・予算可決
長曽川水防事務組合は、羽咋市・中能登町で長曽川の災害に備えて運営しています。

（報告者：古玉　いづみ議員）

５段階の警戒レベルを確認しましょう！



議会モニター委嘱式

中能登町議会モニターとして浜道一英さんと三島秀信さんに委嘱状が作間議長から交付されました。お二人には議会モニターとして、モニター活動を通じ、議会に対するご意見を頂きます。

任期は令和4年8月11日までです。

【議会広報特別委員会】

委員長　土本　稔
副委員長　笹川　広美
委員　諏訪　良一
林　真弥
尾田　良一
古玉いづみ

編集後記

今年は梅雨が長く、各地で豪雨災害が発生しております。コロナ禍における災害は復旧復興にも大きく影響します。災害は忘れたころに来ると言いますが、近年では忘れる前に来るように感じます。感染防止として３密回避が必須です。しかし、心の絆は密接でありたいと思うのです。議会広報紙が議会の対応や情報を皆様に「読みやすく・分かりやすく」届けるように努力していきます。

議会広報委員長　土本　稔

〒929-1792　石川県鹿島郡中能登町末坂９部46番地（鳥屋庁舎２階）
tel0767-74-2808　fax0767-74-2818

※「ＱＲコードは」㈱デンソーウェーブの登録商標です。